

平成18年9月28日

筑波大学

筑波大学附属図書館企画展の開催について

これまで附属図書館では、学内の教育研究組織と当該組織との共催で「特別展」を開催してきました。平成7年からの初回開催から10年余を経て、筑波大学の秋の催しとしてすっかり定着しています。

これまでの教育研究活動の成果と、附属図書館の所有する貴重書を中心とする資料展示との連携は、毎回学内外からの多数の来場者の皆さまに高い評価をいただいています。

今回の「企画展」は、これまでの「特別展」とは趣を変えて、附属図書館が主体となって開催します。

附属図書館の所有する貴重書だけではなく基本書を中心として構成であることが特徴です。内容も古くから日本人に親しまれ、映画や漫画そしてアニメにもたびたび取り上げられている中国三大奇書を巡るものです。

今回の出品物の大部分は基本書です。本展示会が終了すれば館内の所定の書架に戻され、閲覧や館外貸出にも供せられます。

この企画展を通して、利用者にあまり知られずに眠っていた資料、手に取られることの少なかった書籍が日の目を見て、活発に利用されことを期待します。

<企画展概要>

中国三大奇書の成立と受容

—「三国志」「水滸伝」「西遊記」はどのように読まれ、描かれたか—

会期：平成18年10月2日(月)～10月27日(金)

土・日は閉室しますが、学園祭期間中10月7日(土)、8日(日)、9日(月)は開室します

会場：筑波大学附属図書館 中央図書館貴重書展示室

開館時間：9:00～17:00

(ただし、学園祭期間中10月7日(土)、8日(日)、9日(月)は10:00～17:00)

問い合わせ：筑波大学附属図書館 古典資料係

TEL：029-853-2376